



2023年 日本歯内療法学会研修会(徳島)

日本歯内療法学会 (JEA) は、歯科保存臨床における歯内療法分野に特化した学会で、全国の歯科大学教授や歯内療法に精通する開業医が多数所属しております。

日々の臨床で多くの先生が遭遇する難治症例への対処方法、従来の方法ではアプローチすることができなかった未切開領域に対して有用な「高周波通電 HFC (High frequency conduction)」の特徴、作用機序をご紹介すべく今回の研修会を企画いたしました。ぜひとも、この機会を見逃すことなく、多数の先生方の参加を心よりお待ちしております。

実行委員長：富永 敏彦

「歯内療法の成功率をアップさせる高周波通電のサイエンスとテクニック」



講師 菅谷 勉 先生

1985年 北海道大学歯学部卒業、医員
1988年 北海道大学歯学部附属病院 助手(第二保存科)
1992年 博士(歯学)(北海道大学)
1998年 北海道大学歯学部附属病院 講師(第二保存科)
2002年 北海道大学大学院歯学研究科 准教授
(歯周・歯内療法学)
2019年 北海道大学大学院歯学研究科 教授
(歯周・歯内療法学)

日本歯周病学会専門医・指導医
日本歯科保存学会専門医・指導医

北海道大学大学院 歯学研究科
口腔健康科学分野
歯周・歯内療法学教室 教授

CBCTや顕微鏡の導入、各種ニッケルチタンファイル、エンド用モーターの開発により、現代の歯内療法の成功率は飛躍的に向上したといわれています。しかし、これらの機器を駆使して根管治療を行ったにもかかわらず、下記のような症例を経験したことは多いと思います。

- ①抜髄後の自発痛、打診痛が持続した
- ②根管形成、貼薬を繰り返しても、疼痛が治まらない
- ③根尖病変があるのに、根尖部まで穿通できない
- ④出血や排膿が止まらない

これらの原因の多くは根管系に残留した歯髄や細菌であり、機械的切削、根管洗浄、貼薬のみでは全てを除去することは困難とされています。複雑多岐にわたる根管系に高周波電流を通電することにより、清掃困難な狭窄部や側枝、湾曲部、穿通不可能な根管や根尖病変内の感染物質を焼灼し、殺菌することが可能になります。抜髄では次回来院時に自発痛や打診痛はほとんど出現せず、根管治療を繰り返し行っても炎症が改善しない難治症例の約8割で改善がみられ、根尖孔に到達できない未穿通症例の約6割以上で根尖部骨欠損の縮小がみられるなど、高い効果を発揮しています。

本研修会では、「高周波通電HFC(High frequency conduction)」の基礎研究結果と臨床応用方法について、抜髄、穿通不可症例、難治性根尖性歯周炎、穿孔、歯根破折、嚢胞様病変などのさまざまな臨床例を供覧しながら解説いたします。



講師 富永 敏彦 先生

1991年 徳島大学歯学部 卒業
徳島大学歯学部附属病院 小児歯科 助手
2000年 医療法人とみなが歯科医院 理事長
2007年 徳島大学大学院ヘルスバイサイエンス
研究部歯科保存学分野
2009年 Electro-Magnetic Dentistry Association 主宰
2011年 徳島大学歯学博士
2012年 International Electro-Magnetic
Dentistry Association Chairman
2017年 北海道大学大学院歯学研究科

AAE International member
日本歯内療法学会 専門医・指導医

医療法人とみなが歯科医院
北海道大学大学院 歯学研究科
口腔健康科学分野
歯周・歯内療法学教室
International Society for
Electro-Magnetic Dentistry
chairman

日時 4月9日(日) 9:00 ~ 12:00 (受付 8:30~)

会場 四国大学 交流プラザ 徳島県徳島市寺島本町西2丁目35-8

受講料 JEA会員・非会員問わず受講できます

歯科医師 ¥5,000 DH/DA/学生/他 ¥3,000

※受講料は当日承ります

●JEAに入会ご希望の方は、受講料を無料といたします。
当日¥17,000(入会金¥5,000、初年度年会費¥12,000)を
ご用意ください。

お申込み方法

以下のサイトより、インターネット上で
参加申し込みを行ってください。

参加登録サイト
https://oha1.heteml.net/jea/seminar2023_tokushima/

事前登録締切

▶▶ 3月31日(金)



お問い合わせ先

(一財)口腔保健協会内 (一社)日本歯内療法学会事務局
E-mail ▶ jea@kokuhoken.or.jp TEL ▶ 03-3947-8891